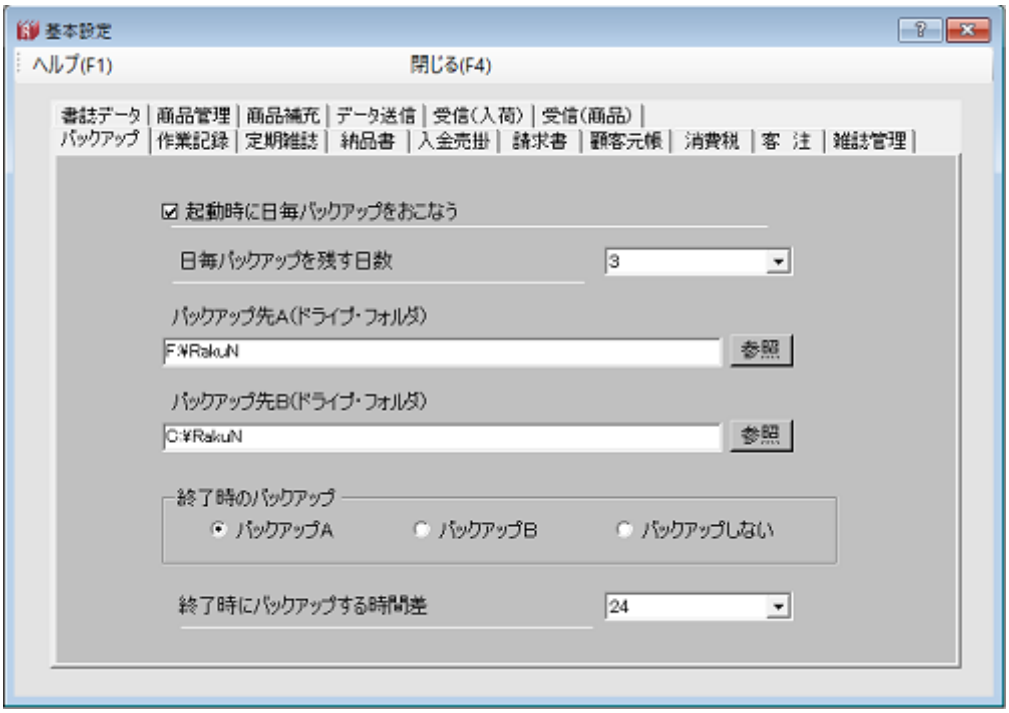
基本設定

らくほんNextの各処理の設定をおこないます。

バックアップ



- 起動時に日毎バックアップをおこなう

  バックアップA・Bとは別にハードディスク内の既定のフォルダ（C:¥Rakuｎ）にバックアップします。

- 日毎バックアップを残す日数

  設定した日数、日毎バックアップを残し、経過後はその後の日毎バックアップで上書きします。

- バックアップ先A・B

  メニューバーからのバックアップ、終了時のバックアップの保存先の設定。参照ボタンを押し指定。（直接入力可能）

- 終了時のバックアップ

  バックアップA、バックアップB、バックアップしない、いずれかを選択

- 終了時にバックアップする時間差

  らくほんNext終了時のバックアップを、前回の終了から何時間後の終了時からおこなうかを設定

作業記録

- 注文納品書の記録方法

  「取引ごと」「顧客ごと」「総計」のいずれかを選択。

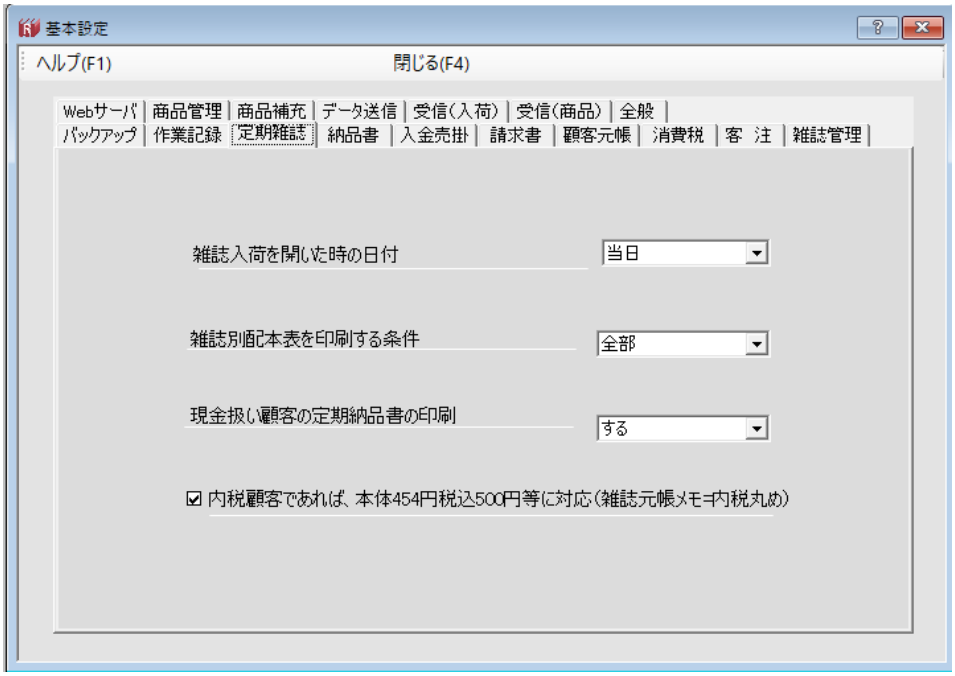
- 入金(値引)入力の記録方法

  「個々」「扱い者別」「総計」のいずれかを選択

- 作業記録データを保管する日数

  作業一覧に保存する日数を設定します。

定期雑誌



- 雑誌入荷を開いた時の日付初期値を設定します。
- 雑誌別配本表を印刷する条件：「全部」「予約有りのみ」いずれかを選択。
- 現金扱い顧客の定期納品書の印刷：「する」か「しない」か。
- 内税顧客であれば、本体 454 円税込 500 円等に対応（雑誌元帳メモ＝内税丸め）→税込 500 円雑誌参照

納品書

- 納品書のタイトル
  リストから選択、直接入力も可。
- 納品書右票のタイトル
  左右対称の控付き納品書のみで有効。
- 現金扱いの納品書タイトル
  顧客種別の種別が「現金扱い」に設定された顧客のタイトルの設定。
- 定期・注文納品書に納品日を印刷：「和暦」「西暦」「しない」かを選択します。
- 定期・注文納品書に作成日付を印刷：「する」「しない」から選択します。
- 前月残・現残高・入金額の明細覧の印字：「前月残」・「現残高」・「入金額」の全てを印刷するかしないかを選択。「しない」の場合、下の 3 項目は無視されます。
- 前月残の金額の印字：「前月残」の印字を「する」か「しない」か選択
- 現残高の金額の印字：「現残高」の印字を「する」か「しない」か選択
- 入金額の金額の印字：「入金額」の印字を「する」か「しない」か選択
- 号数までの雑誌名の字数：定期納品書では、雑誌名の後に号数が表示されます。納品書によって表示幅が違うため、枠内に収まらない場合はここで調整できます。大きな数字にすると号数が印字されなくなる場合があります。
- 納品書で、商品コードのかわりに出版社名を印字する：チェックすると出版社名を印字します。出版社名は商品元帳の登録値を参照します。出版社名が登録されていない場合、書籍は出版社、雑誌は雑誌元帳の登録値を参照します。

入金売掛

- 店渡しの現金扱いを記録する日数

  本来は現金扱いは記録する必要はないのですが、納品書の再発行を行う為に数日間は納品データを残しています。その期間を設定します。通常は７日程度にします。
- 納品一覧で納品明細や入金明細を削除可能に

  納品一覧で「行削除」ボタンを押したときに削除可能にするかを設定
- 値引入力の請求書での表示名

  「値引入力」処理で入力された値を請求書で表示する際の表示名を選択、直接入力可。
- 掛率値引（商品別割引）の請求書での表示名

  掛率割引の値の請求書での表示名を選択、直接入力可。
- 入金の請求書での表記名

  「入金入力」処理値を、請求書で表示する際の表示名を選択、直接入力可。
- 前期繰越金の請求書での表記名

  請求書で表示する際の表示名をリストから選択するか、直接に入力します。

請求書

- インボイス対応の請求書を作成する

  チェックするとインボイス対応形式の請求書を作成し、注1の設定項目は表示されません
- 請求書に表示する年数表示

  「和暦表示」「西暦表示」
- 請求書合計覧横の消費税の表示方法

  リストから選択、直接入力可
- 請求書のタイトル

  リストから選択、直接入力可
- 請求書控えのタイトル

  控付請求書の控えタイトルをリストから選択、直接入力
- 集金一覧表で、請求額ゼロの印刷

  「全部印刷」「印刷しない」
- 種別合計欄の印字

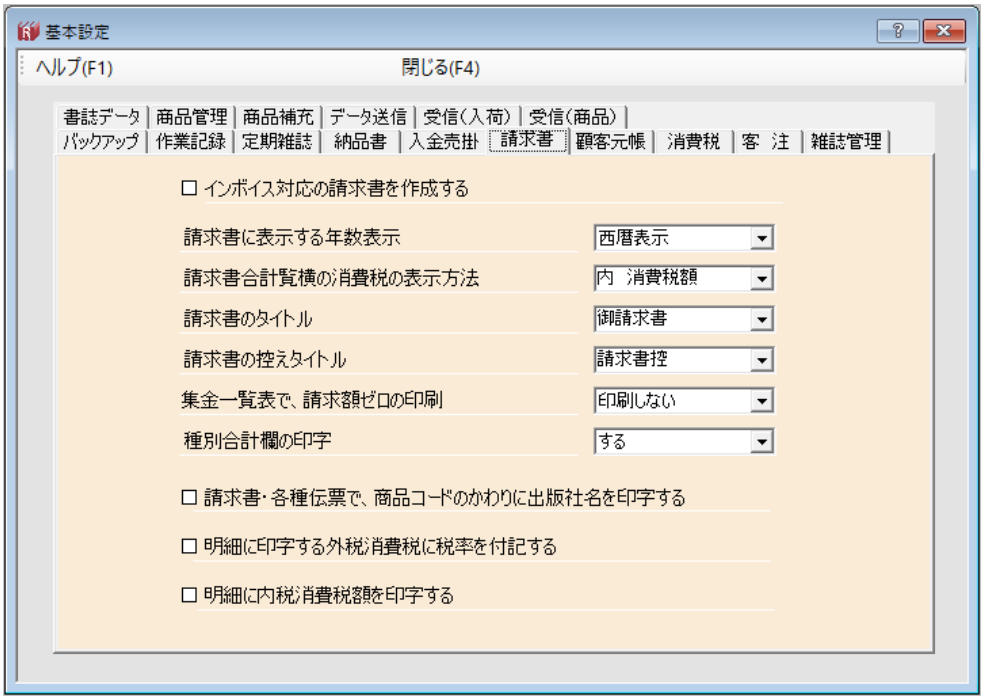
  請求書下方の前月請求額、入金額や消費税別合計を印字するかしないかを選択。
- 請求書・各種伝票で、商品コードのかわりに出版社名を印字する

  出版社名は商品元帳の登録値を参照。
- 明細に印字する外税消費税に税率を付記する（注1）

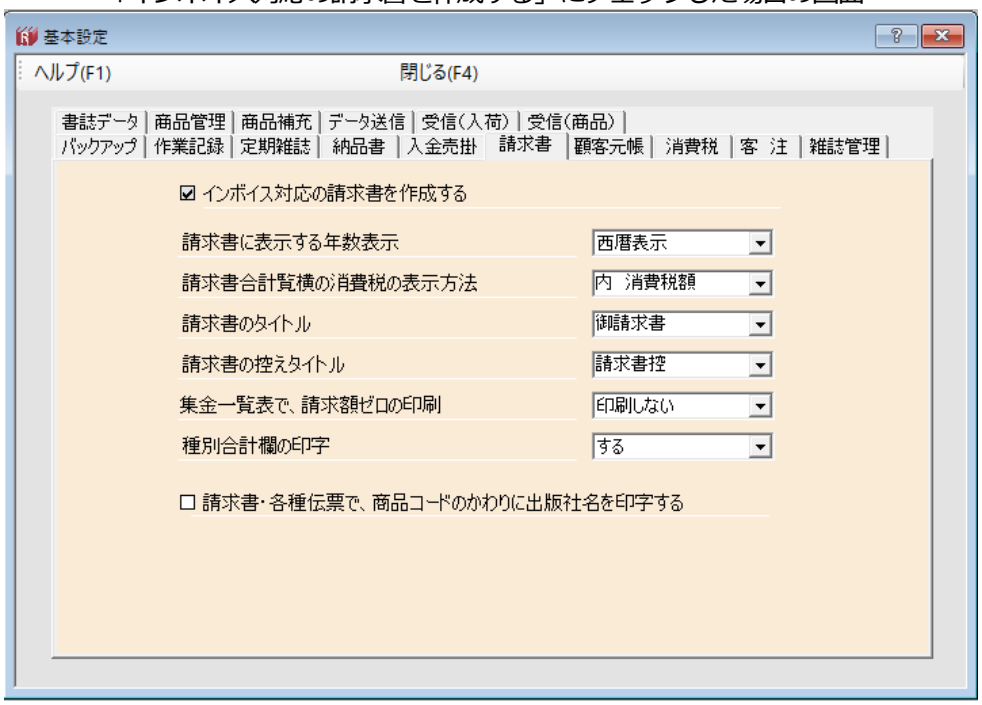
  チェックすると、商品名欄に「消費税率（○%）」と税額を印字します。
- 明細に内税消費税を印字する（注1）

  チェックすると、商品名欄に「消費税率（○%）」と税率を印額します。

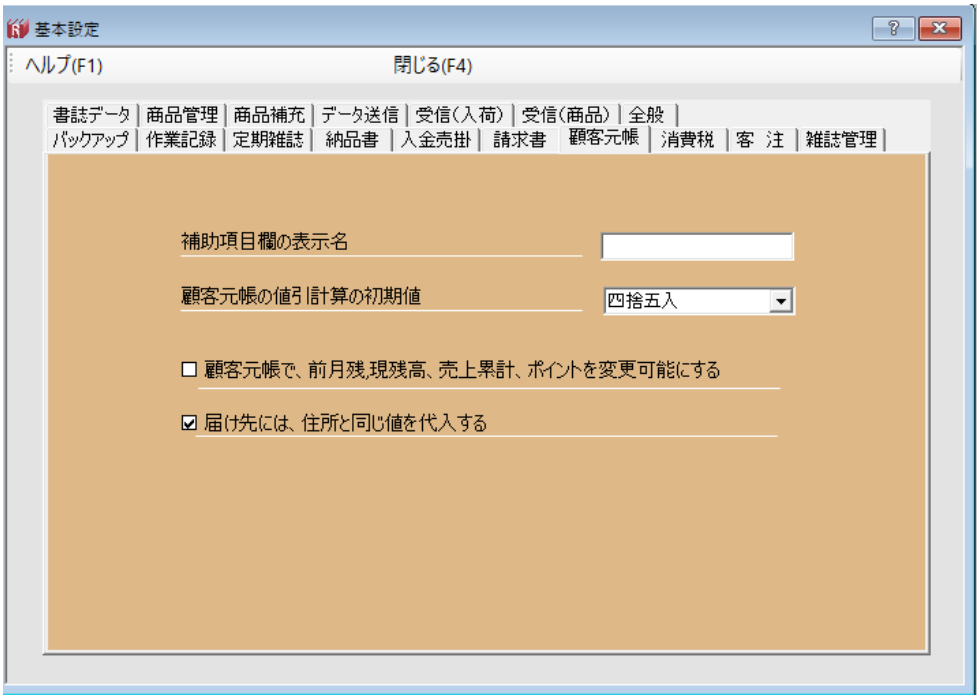
「インボイス対応の請求書を作成する」にチェックしない場合の画面



「インボイス対応の請求書を作成する」にチェックした場合の画面



顧客元帳



- 補助項目欄の表示名

  「請求宛名」と入力すれば、請求書・各種伝票で顧客名に替えて印字されます（ヌル値除く）
- 顧客元帳の値引計算の初期値

  「切り上げ」「四捨五入」「切り捨て」のいずれかから選択。新規顧客を追加した際の初期値となります。顧客ごとに変更できます。
- 顧客元帳で、前月残、現残高、売上累計、ポイントを変更可能とする

  チェックしておくと、顧客元帳画面で変更できるようになります。
- 届け先には、住所と同じ値を代入する

  住所を登録した際に届け先に連動します。

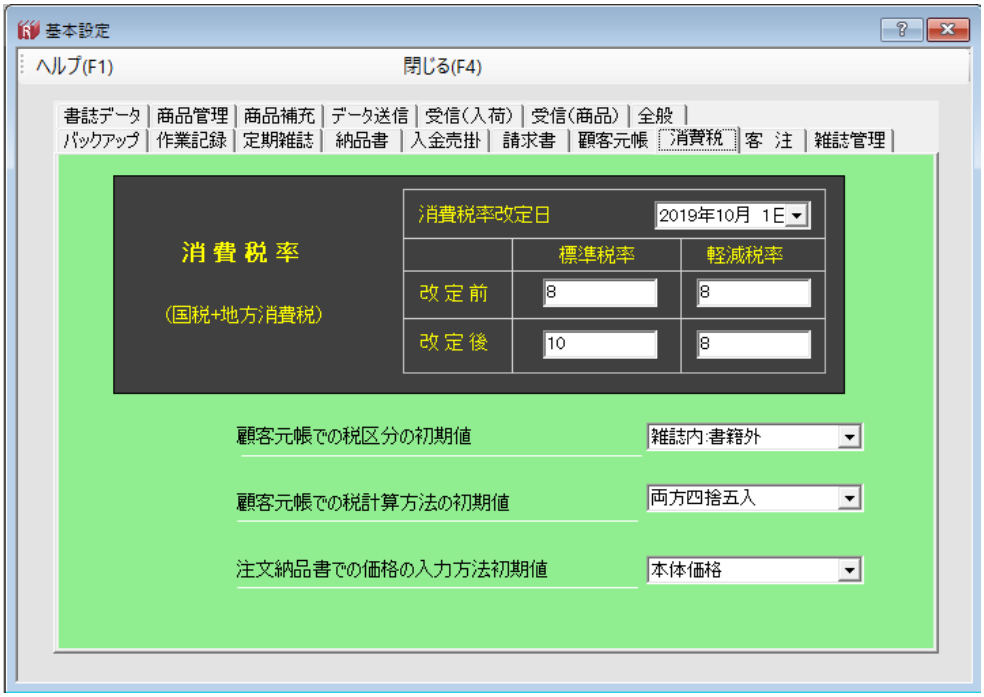
消費税

- 消費税率

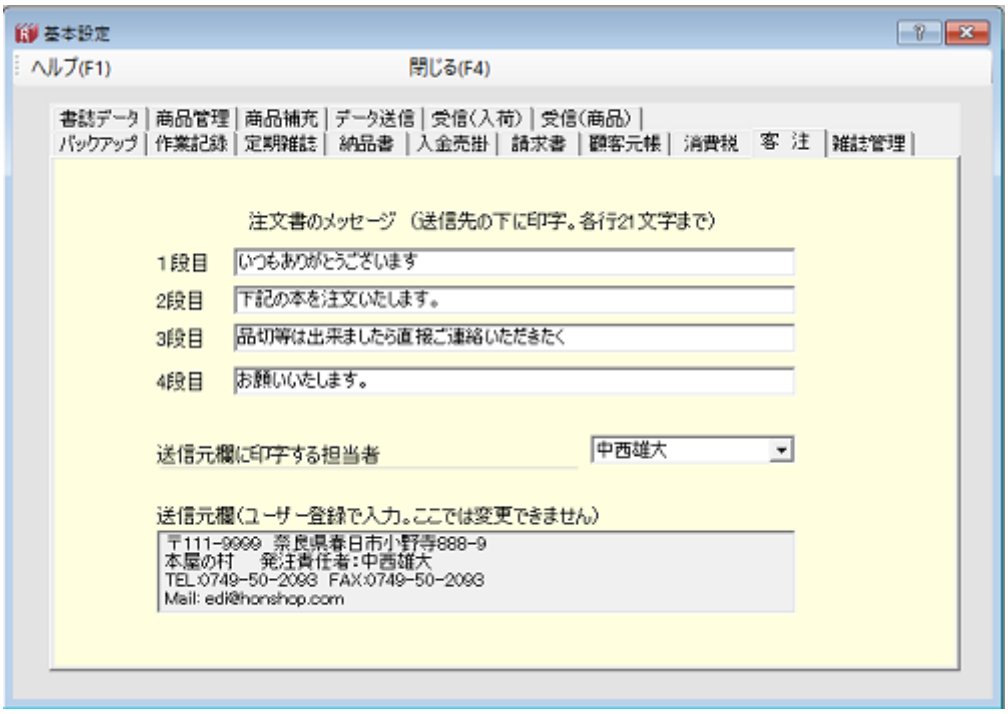
  税率が変更になった場合に、改定日と前後の税率を登録。
- 顧客元帳で税区分の初期値新規顧客追加時の初期値。
- 顧客元帳で税計算方法の初期値

  新規顧客追加時の初期値。
- 注文納品書での価格の入力方法初期値

  顧客コードを入力したときの価格入力方法を、「本体価格」「税込価格」どちらにするかを選択



客　注

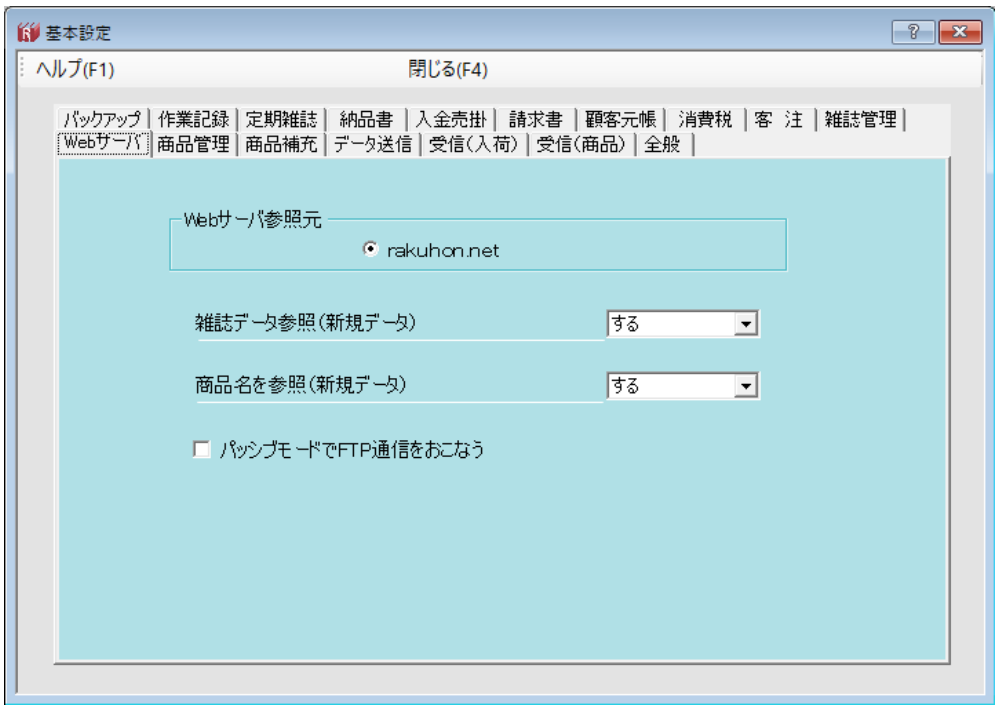


- 注文書のメッセージ
  FAX 注文で、注文書に印刷するメッセージの設定
- 発信元欄に印字する担当者
  発注責任者を選択。
- 送信元欄
  ユーザー登録登録値。ここでは変更できません

雑誌管理

- 雑誌入荷一覧表に前号の在庫数を表示する
  チェックすると前号在庫数を印字。
- 日付指定の定期改正処理を行う
  毎日定期改正処理を行う場合。
- 雑誌定期改正で前回申込数を表示する
  チェックすると前回の申込数を表示。
- ムックやコミックで、雑誌コード+号数から ISBN に変換する
  注文納品書や商品入力で雑誌コードと号数を入力した場合に参照
- 雑誌バーコード入力した際の商品名表示参照元
  「商品元帳」「雑誌元帳」のいずれかを選択
- 定期改正で卸配本数を定期数とみなす割合
  顧客種別の種別が「卸扱い」になっている顧客の予約数を定期数として扱う割合
- 号数抽出（雑誌コードの一桁目）
  データ交換で送信するときに、雑誌コードに号数を追加する場合にチェックします。

Web サーバ



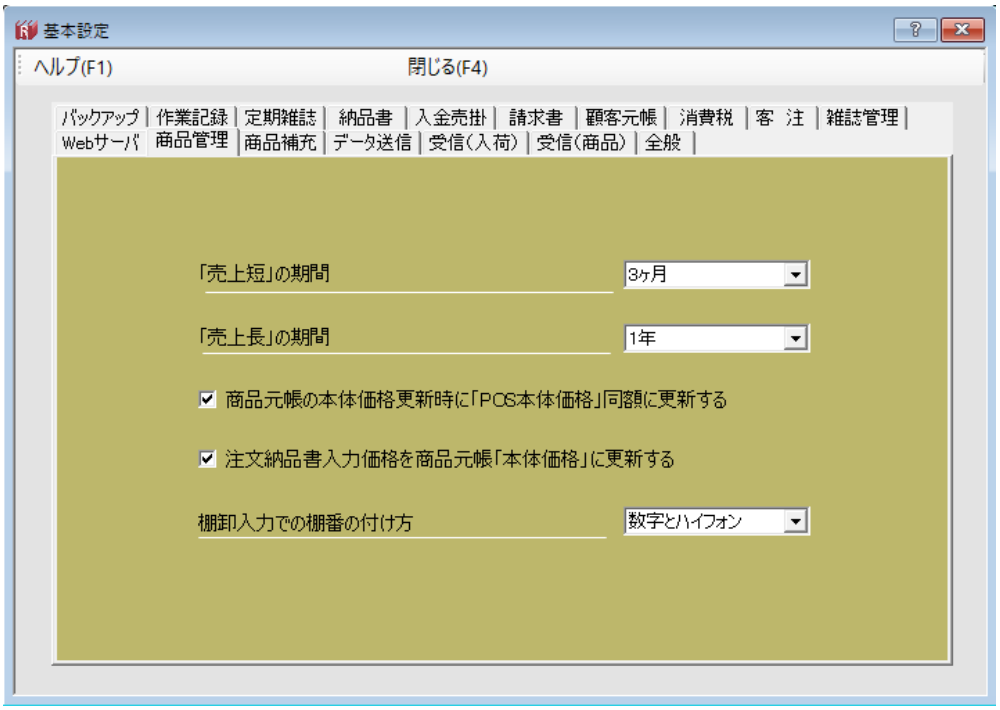
ホームページ、書誌データ、及びデータ交換サーバー参照元の設定いずれもインターネット接続環境で有効

- Web サーバ参照先
  ISBN を入力したときの商品元帳未登録の書名参照先、及び、データ交換を行う際の本屋の村サーバ参照先を選択。

Hon-shop.com は2026 年 10 月で終了

- 雑誌データ参照
  雑誌元帳未登録の雑誌名参照をするかしないか
- 商品名を参照：商品元帳未登録の商品名をするかしないか
- パッシブモードで FTP 通信をおこなう：データ交換サービス利用時、FTP 通信できないときにチェック

商品管理

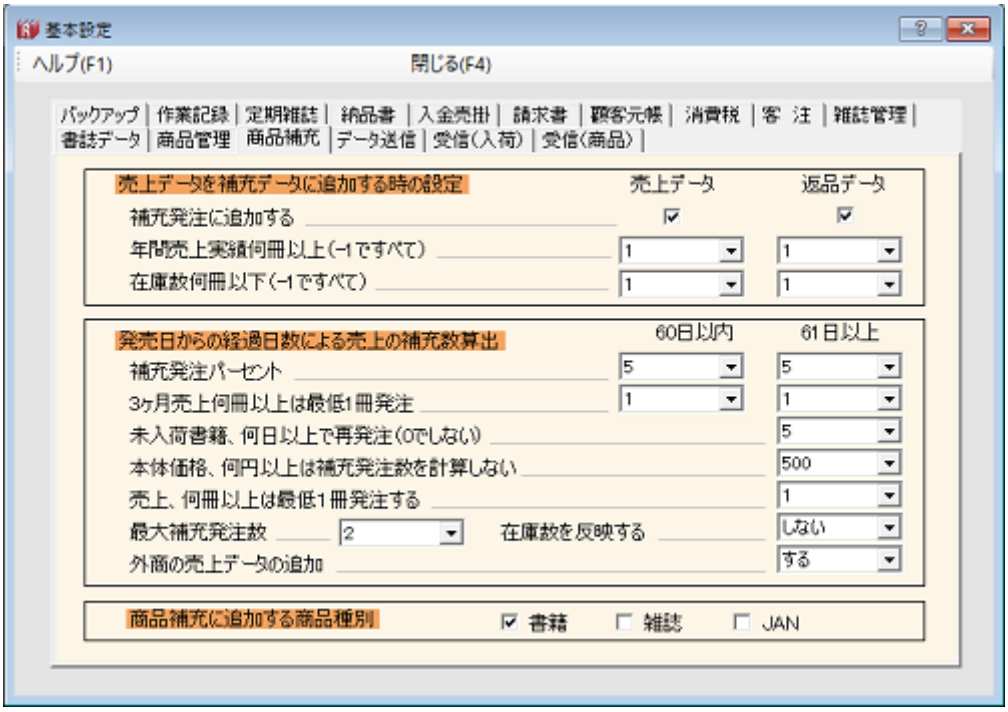


- 「売上短」の期間
  商品元帳の「売上短」の期間
- 「売上長」の期間
  商品元帳の「売上長」の期間

商品管理→商品設定→元帳メンテナンス→「月次更新」をおこなった際に更新されます

- 商品元帳の本体価格更新時に「POS 本体価格」も同時に更新する
  取次受信後、データ交換受信、注文納品書、商品入力などの処理時に「POS 本体価格」を更新するしないの設定
- 注文納品書入力価格を商品元帳「本体価格」に更新する
  注文納品書で入力した価格に商品元帳「本体価格」を更新するしないの設定
- 棚卸入力での棚番の付け方：棚卸入力機能を使用する場合、棚番号の付け方を「数字」「数字とハイフォン」「付けない」から選択

商品補充



- 売上と返品データを補充データに追加する時の設定

  POS・外商・商管の売上と返品伝票の入力データを、補充データに追加する条件設定
- 補充発注に追加する

  チェックで下２項目の条件に合致する場合に追加。
- 年間売上実績何冊以上（-1 ですべて）

  商品元帳の年間売上数（売上長）から設定
- 在庫数何冊以下（-1 ですべて）

  商品元帳の現在在庫数から設定
- 発売日からの経過日数による売上の補充数算出

  発売日からの経過日数 60 日以内と 61 日以上（発売日未入力は６１日以上）に分けて、補充発注数を計算
- 補充発注パーセント

  補充発注数を求めるための、３ヶ月売上数（商品元帳の売上短）に掛ける乗数
- ３ヶ月売上何冊以上は最低１冊発注

  上記項目計算で補充発注数が０の場合でも、この項目冊数以上の３ヶ月売上の場合は、補充発注数を１冊とする。
- 未入荷書籍、何日以上で再発注（0 でしない）

  補充発注や追加発注後、何日経過した時点で未入荷の場合は、再度補充リストに追加するか
- 本体価格、何円以上は補充発注数を計算しない

  この設定値以上の本体価格の場合は、補充一覧表での補充発注数を０冊とする
- 売上何冊以上は最低１冊発注する

  年間売上（商品元帳の売上長）がこの設定値以上の場合は、最低１冊は発注する
- 最大補充発注数

  上記項目で計算された発注数は、この設定値以上にはしない
- 在庫数を反映する

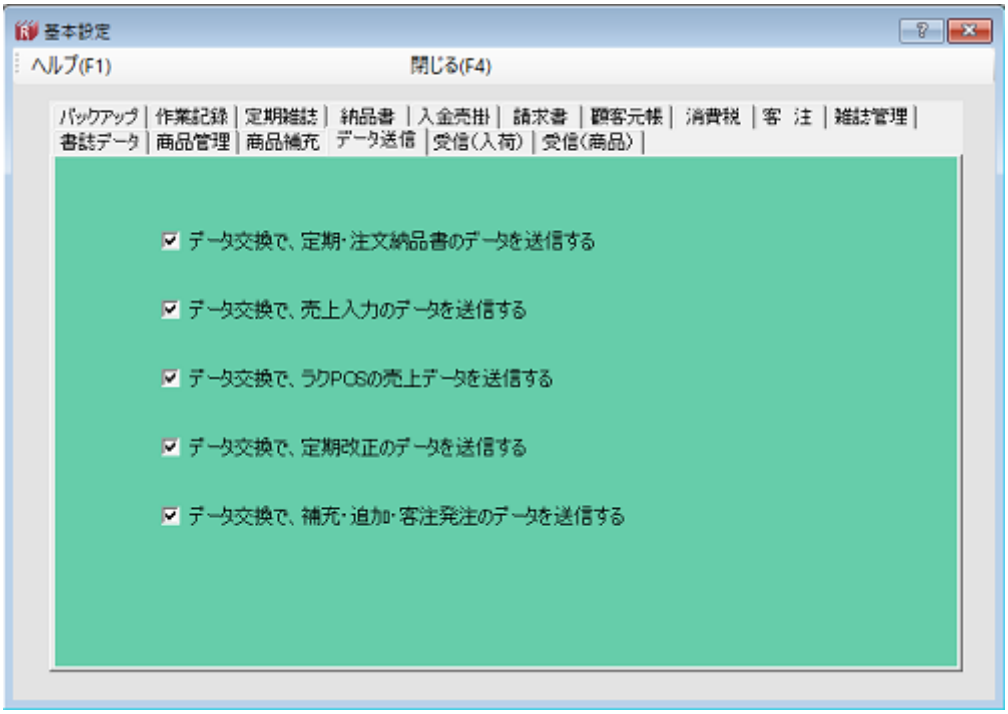
  上記項目で算出された補充発注数から在庫数を引いた値を補充発注数とする
- 外商の売上データの追加

  「する」外商で入力した注文納品書や商管の売上入力の売上数も補充発注書に追加する。「しない」POS データのみ
- 商品補充に追加する商品種別

  チェックした種別を補充に追加されます。

データ送信

<データ交換サービスを利用してデータ送信する際の設定>



- データ交換で、定期・注文納品書のデータを送信する

  チェックするとデータ交換で取次に送信。
- データ交換で、売上入力のデータを送信する

  チェックするとデータ交換で取次に送信。
- データ交換で、ラク POS の売上データを送信する

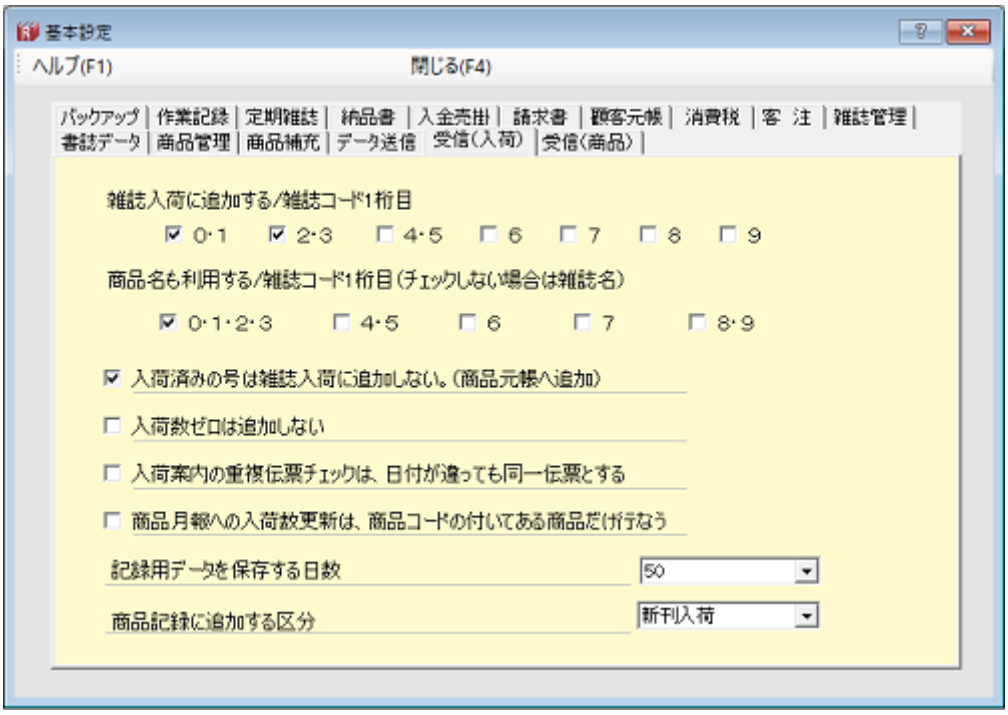
  チェックするとデータ交換で取次に送信。
- データ交換で、定期改正のデータを送信する

  チェックするとデータ交換で取次に送信。
- データ交換で、補充・追加・客注発注のデータを送信する

  チェックするとデータ交換で取次に送信。

受信(入荷)

<取次の Web サービス（トーハン TONETS,日販 NOCS）やデータ交換で受信する際の設定>



- 雑誌入荷に追加する/雑誌コード１桁目

  雑誌コードの １ 桁目で選択できます。
- 商品名も利用する/雑誌コード１桁目（チェックしない場合は雑誌名）

  受信した商品名を、納品書の商品名とします。受信するデータによっては、特集タイトルを商品名にしていることがあります。
- 入荷済みの号は雑誌入荷に追加しない。（商品元帳へ追加）

  既に入荷済の号は、雑誌入荷に追加せずに、直接に商品元帳に追加します。
- 入荷数ゼロは追加しない

  チェックすると、入荷数ゼロのデータは雑誌入荷に追加しない。
- 入荷案内の重複伝票チェックは、日付が違っても同一伝票とする

  日付が違っても同じ伝票番号の場合は重複伝票チェックに表示します。
- 商品月報への入荷数更新は、商品コードの付いてある商品だけ行なう

  月報の商品入力の計算に反映。
- 記録用データを保存する日数

  設定した日数だけ保存します。
- 商品記録に追加する区分

  商品履歴で表示する区分を設定します。

受信(商品)

<取次の Web サービス（トーハン TONETS,日販 NOCS）やデータ交換で受信する際の設定>

- 既存の場合に入れ替える項目にチェック

  受信したデータが既に登録されている場合、チェックされていれば更新されます。新規データや既存でもその項目が未登録の場合は、チェックに関係なく記録されます。

- 入荷ゼロの商品は、商品元帳に追加しない

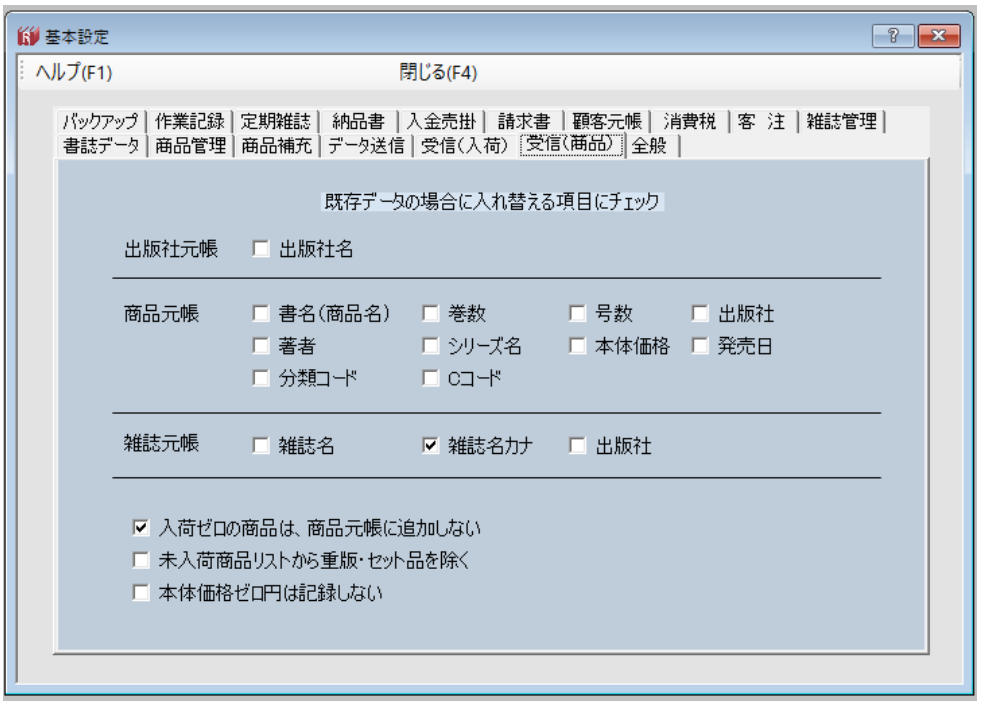
  入荷数がない商品は、書名等を記録しない。

- 未入荷商品リストから重版・セット品を除く

  トーハンの TONETS からセット品データを受信した場合に反映されます。

- 本体価格ゼロ円は記録しない

  トーハンの TONETS から受信した際に、本体価格ゼロ円を商品元帳や雑誌元帳に記録するしないの設定



全般

- 警告音の種類

  注文納品書、返品・入荷・売上・移動入力画面での警告音の種類。Windows 設定音から選択

- 操作中に Numlock キーが押されたら警告メッセージを表示する。

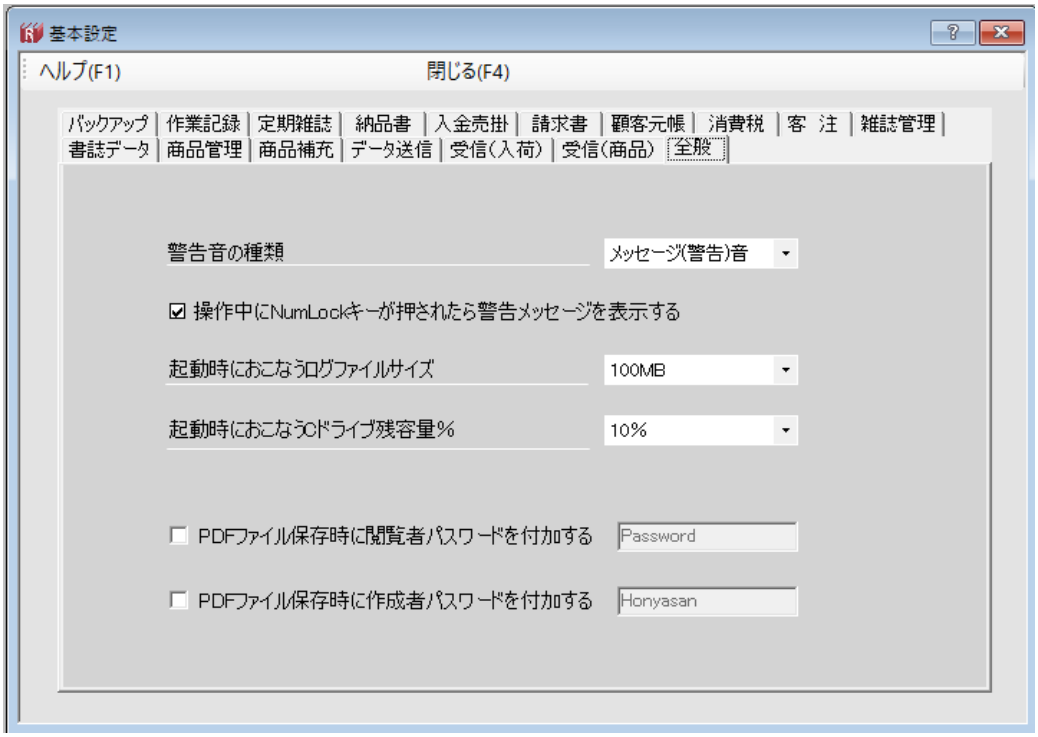
  注文納品書、返品・入荷・売上・移動入力、雑誌入荷などの処理中に Numlock キーを押したときの設定

- 起動時におこなうログファイルサイズ

  起動時におこなう、ログファイルサイズが肥大化したときの注意メッセージの表示基準の設定・・・参考：データの圧縮、起動時メッセージ

- 起動時におこなうＣドライブ残容量%

  起動時におこなう、Ｃドライブ残容量割合が少ないときの注意メッセージの表示基準の設定・・・参考：起動時メッセージ



プレビュー画面から「PDF」ボタンを押して作成する PDF ファイルの設定

- PDF ファイル保存時に閲覧者パスワードを付加する

  チェックすると、PDF ファイルを開くときにパスワード入力が必要になります。右欄にそのパスワードを設定変更できます。

- PDF ファイル保存時に作成者パスワードを付加する

  チェックすると、作成される PDF ファイルが保護され、PDF 編集ソフトで編集することができなくなります。

  - 「PDF ファイル保存時に閲覧者パスワードを付加する」だけにチェックすることはできません
  - 「PDF ファイル保存時に作成者パスワードを付加する」だけにチェックすると、開くときはパスワード入力が必要でない保護された PDF ファイルを作成できます。

  参考 → プレビュー画面